

2024年2月4日

## シーメンスヘルスケア、脳神経領域の高度な研究ニーズに応えるMRI装置「MAGNETOM Cima. X」の販売を開始

シーメンスヘルスケア株式会社（本社：東京都品川区）は、脳神経領域における高度な研究ニーズに応える磁気共鳴診断装置（MRI）「MAGNETOM Cima. X（マグネトム シーマエックス）」を2月7日より販売する。

シーメンスヘルスケアは、日本において1980年代にMRIが臨床応用されはじめた頃より数々の先進的な技術を導入し、研究用途やさまざまな臨床ニーズに応える幅広いラインアップを提供している。今回発売する「MAGNETOM Cima. X」は、大学病院や総合病院などにおける脳神経領域の研究用途を主なターゲットとし、強力な傾斜磁場を用いた拡散強調画像により、脳や体内の微細な構造を高コントラストで描出する。既発売の「MAGNETOM Prisma」の後継機種で従来機の2.5倍の最大傾斜磁場強度200mT/mを実現するなど、同社の最先端技術を結集した製品となる。

今回新たに開発した傾斜磁場コイル「Gemini Gradients」は、2つのGPA（Gradient Power Amplifier）を同時駆動させることで、従来機の2.5倍となる最大傾斜磁場強度200mT/mを実現する。それにより非常に高いb値においてもTEを短縮しSNR（Signal to Noise Ratio：信号対ノイズ比）の大幅な改善が可能となる。そして高コントラストの拡散強調画像の画質向上により、脳の構造的・機能的なつながりの研究において重要となる脳の複雑な神経線維の走行やマイクロストラクチャの描出などの可能性が広がる。

同社では、今後も、MRIのリーディングカンパニーとして、さまざまなブレークスルーをもたらすべく、ヘルスケアの未来に向けて邁進していくとしている。